

白樺の森

札幌市清田区平岡2条5丁目4番10号

TEL:883-3761 FAX:883-9437

<https://www.hiraoka-j.sapporo-c.ed.jp/>

札幌市立平岡中学校

学校だより

令和7年12月17日

特別号

【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要（学習指導要領の領域等）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>◆全国平均をやや下回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」</p> <p>◆全国平均をやや下回っている。</p> <p>「書くこと」</p> <p>▼全国平均を下回っている。</p> <p>「読むこと」</p> <p>◆全国平均をやや下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 事象や行為を表す語彙について理解すること。➤ 資料や機器を用いてわかりやすく伝わるように工夫すること。➤ 内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考え、根拠を明確にして書くこと。➤ 表現の効果や文章の展開について根拠を明確にして考えること。	<ul style="list-style-type: none">➤ 事象や行為を表す語彙の知識を増やし、日常で用いる学習の充実。➤ 自分の考えをわかりやすく伝えるために効果的に資料等を用いる学習の充実。➤ 文章の構成や展開を意識しながら、根拠を明確にして書く学習の充実。➤ 内容を理解するために着目すべき根拠を明確にして読む学習の充実。

【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要（学習指導要領の領域等）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>「数と式」</p> <p>▼全国平均を下回っている。</p> <p>「図形」</p> <p>▼全国平均を下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 事柄が常に成り立つとは限らないことを、反例をあげたり数学的な表現を用いたりしての説明など記述すること。➤ ある事柄が成り立つことを、構想に基づいて図形の性質を証明すること。	<ul style="list-style-type: none">➤ 数学的な表現を用いて、例をあげながら言葉や文章で説明する活動の充実。➤ 図形の性質や関係を整理し見通しをもって筋道を考え順序立てて説明する活動の充実。

全国学力・学習状況調査の結果について

「全国学力・学習状況調査（3年生対象）」の本校の結果概要をお知らせいたします。調査を受けた3年生には、設問ごとの正答が記された個人票をすでに配付しております。

記号の意味 全国平均正答を基準として

- | | |
|--------------|-------------|
| (△) 上回っている | +3.1 ポイント以上 |
| (◇) やや上回っている | +3 ポイント以内 |
| (○) ほぼ同程度 | |
| (◆) やや下回っている | -3 ポイント以内 |
| (▼) 下回っている | -3.1 ポイント以上 |

【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要（学習指導要領の領域等）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>中学校 数学</p> <p>「関数」</p> <p>◆全国平均をやや下回っている。</p> <p>「資料の活用」</p> <p>▼全国平均を下回っている。</p>	<p>▶関数について、変化の割合等の関数の特徴についての意味や求め方を理解すること。</p> <p>▶言葉の意味を理解し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。</p>	<p>▶関数における基礎的な知識を理解し、それらを活用して問題を解決する活動の充実。</p> <p>▶適切な方法でデータを分析し、その特徴や傾向を読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実。</p>

【中学校理科】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

課題	改善の方向
<p>中学校 理科</p> <p>●電気回路と電流・電圧と抵抗に関する知識や法則を理解していること。</p> <p>●スケッチや植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能が身に付いていること。</p> <p>●大気圧に関する知識及び技能を活用して、身近な事象について、説明すること。</p> <p>●状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、実験結果から分析して理由を考えること。</p>	<p>○豆電球や抵抗器を使用して回路を組み、電流・電圧の大きさを調べ、法則を見出すと共に、条件を変えた時の結果を予想したり、説明したりするなどの学習活動の充実。</p> <p>○身の回りの生物の観察やスケッチを行い、植物のつくりについて、そのはたらきと関連付けて考える学習活動の充実。</p> <p>○山頂や飛行機など高い場所と地上との気圧の違いや、日常生活の大気圧を体感できる現象を通して理解を深めていく学習活動の充実。</p> <p>○水を入れたアルミ缶の加熱・冷却の実験結果について、水の状態変化と大気圧を関連付けて説明する学習活動の充実。</p>

【「生徒質問紙」回答結果より】<学校生活や気持ち、生活習慣に関する質問>

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
1、自分には良いところがあると思う			
ほぼ当てはまる	86.0%	81.7%	76.5%
まったく当てはまらない	3.1%	8.5%	5.2%
2、学校に行くのは楽しい			
ほぼ当てはまる	85.3%	86.6%	80.5%
まったく当てはまらない	3.1%	1.2%	6.9%
3、友達関係に満足していますか			
ほぼ当てはまる	84.5%	93.9%	90.2%
まったく当てはまらない	2.3%	0.6%	2.3%
4、自分と違う意見について考えるのは楽しい			
ほぼ当てはまる	75.2%	71.9%	67.8%
まったく当てはまらない	7.0%	6.7%	7.5%
5、先生は良いところを認めてくれている			
ほぼ当てはまる	86.0%	87.2%	77.6%
まったく当てはまらない	3.1%	5.5%	5.2%
6、朝食			
ほぼ毎日食べている	90.7%	87.8%	90.3%
朝食はまったく食事をとらない	3.1%	4.9%	2.9%
7、就寝時間			
ほぼ毎日同じ時間に寝ている	75.2%	83.6%	78.2%
まったく決まった時間ではない	2.3%	5.5%	4.0%
8、起床時間			
ほぼ毎日同じ時間に起きている	93.0%	94.6%	88.5%
まったく決まった時間ではない	0.8%	0%	2.3%

【アンケート結果より】

- ・今後も引き続き、協働学習や話し合い活動等を積極的に取り入れていきます。また、日々の見守りや教育相談も充実させていきます。
- ・規則正しい生活の推進については、食育や睡眠と健康等の学習を通して充実させていきます。

＜学習に関する質問＞

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
月曜日から金曜日の家庭学習時間（1日）			
3時間以上	6.2%	9.1%	6.9%
2時間以上、3時間より少ない	15.5%	16.5%	21.3%
1時間以上、2時間より少ない	27.9%	37.2%	37.4%
1時間より少ない	42.7%	26.9%	25.9%
まったくしない	7.8%	9.8%	8.6%
土曜や日曜など休みの日の家庭学習時間（1日）			
3時間以上	8.6%	9.8%	13.8%
2時間以上、3時間より少ない	16.3%	18.9%	20.1%
1時間以上、2時間より少ない	31.8%	25.6%	25.9%
1時間より少ない	25.5%	26.8%	23%
まったくしない	17.1%	18.9%	17.2%

＜ＩＣＴに関する質問＞

	令和7年度
1、文章を作成することができる。（文字やコメント）	
ほぼ当てはまる	79.1%
まったく当てはまらない	1.6%
2、情報を収集することができる。（検索、調べる）	
ほぼ当てはまる	87.6%
まったく当てはまらない	1.6%
3、情報を整理することができる。（図、表、グラフなど）	
ほぼ当てはまる	58.1%
まったく当てはまらない	3.9%
4、プレゼンテーションを作成することができる。（発表のスライド）	
ほぼ当てはまる	70.5%
まったく当てはまらない	10.1%

【アンケート結果より】

- ・家庭での学習時間について、減少している生徒が増えており、家庭学習の定着が課題となっています。
- ・ＩＣＴを活用した学習について情報を整理する力の育成が課題となっています。今後も身近で効果的な学習ツールとなるよう取り組んでいきます。
- ・引き続き、生徒の自己肯定感が高まるよう、生徒の良さを認め、励ましながら教育活動を心掛けていきます。